

病弱者の心理・生理・病理

《担当者名》 橋本 菊次郎 湯川 正雄（非）

【概要】

病弱者の病理、生理的变化、および心理的、社会的支援について理解し、成長・発達やライフサイクルの中で、病気や障害の状態や特性を捉え、その概要を学修する。また、病弱児を対象とした特別支援教育の課題（含む、家庭や学校間、医療、福祉及び保健機関との連携の重要性）について理解する。

【学修目標】

病弱者の病理、生理的变化を疾患毎に理解することで、病弱者の心理を理解する上で必要と考えられる項目を説明できるようになる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	総論	病弱をかかえる児童・生徒の心理的社会的な状態は多岐にわたり、病弱者の病理、生理的变化ヒトの成長とライフサイクルを知ることがかかわりの手掛かりを学ぶ	湯川
2	病理学の序論	病理学、病弱者について	湯川
3	免疫不全とアレルギー疾患	小児気管支喘息について	湯川
4	小児がん	小児の白血病について	湯川
5	慢性腎不全	小児の慢性腎不全について	湯川
6	神経・筋疾患	てんかん、筋ジストロフィーについて	湯川
7	代謝疾患	小児の糖尿病について	湯川
8	循環器疾患	心臓病・先天性心疾患など	湯川
9	消化器疾患・炎症性疾患	潰瘍性大腸炎・クローン病など	湯川
10	血液疾患と病理学復習	再生不良性貧血、血友病などとまとめ	湯川
11	ヒトの発達	ヒトの発達について身体面、脳と精神面の発生・発達から学ぶ	橋本
12	心理的発達の障害	精神遅滞、広汎性発達障害などについて学ぶ	橋本
13	青年期の発達障害と二次障害	広汎性発達障害の児童などが青年期に抱える課題について学ぶ	橋本
14	特別支援教育	病弱児を対象にした特別支援教育の課題（含む、家庭、医療、福祉及び保健機関との連携の重要性）について学ぶ	橋本
15	まとめ 社会的課題	講義全体を通じて病弱者のかかえる社会的スティグマについて、また病弱児者への理解と関わりについての理解を深める	橋本

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート100%（湯川担当分70%、橋本担当分30%）

【教科書】

指定しない

【参考書】

病気の子どものための教育必携 全国特別支援学校病弱教育校長会 編 ジアース教育新社
医療系学生のための病理学第3版 中村仁志夫ら著 講談社

【学修の準備】

湯川の講義に関しては、推薦参考書あるいはほかの病理学の教科書を参考に講義内容について下調べをして、質問事項を用意して来ること。(予習復習)

橋本の講義に関しては、講義の都度、資料を提示するので、それを事前事後学習して講義に臨むこと。(予習復習)

予習2時間・復習2時間

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育領域に関する科目」の「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目」に該当する。
中心となる領域：病弱者 含む領域：知的障害者・肢体不自由者